

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会第 4 回遊水地保全・再生検討部会 議事要旨

日 時：平成 28 年 5 月 25 日（水） 14 時 00 分～17 時 20 分
場 所：第一調節地、第二調節地 栃木市藤岡遊水池会館 2 階大会議室
出席者：別紙出席者一覧表（構成員：44 団体中 27 団体（45 名）、
オブザーバー：4 団体中 0 団体

<議事要旨>

※部会については、栃木市と小山市が交互に事務局を務めることとなっており、本会は小山市が担当。

小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課 堀越係長が司会進行。

部会開催にあたり、1 時間 30 分ほど現地見学を実施（小山市、栃木市）

2. 議事

(1) 開会

- ・司会より開会の辞

(2) 挨拶

【部会長】

前回までのふりかえりとしては、4 つのテーマについて検討しようということになり、各団体で知っていること・取り組んでいること等について、アンケート調査をさせていただいた。そこで、4 つのテーマを 2 つに絞って検討していくことになった。本日は外来種の対策とゴミ対策の強化について、また、前回の部会の中で、7 月 3 日がラムサール条約湿地登録の記念日で、これを記念して何かできないかという意見があった。今回の部会で検討いただきたい。

(3) 今後の取り組み及び部会の方向性について

【議長】

事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・資料 1、1. ラムサール条約湿地登録日に係る部会（協議会）の対応について 説明

【議長】

この議題を最初にしたのは、7 月 3 日が登録記念日であり、この登録記念日の前の部会という今回の部会が最後になってしまうためである。前回の部会で協議会として 7 月 3 日に何かできないかというご意見があったため、事務局及び、幹事会で把握しているイベントについてまとめた。部会で新規に何かを実施するという事は難しいため、各市町、団体においてイベントを実施する際に、ラムサール条約湿地登録日ということ冠をつけて PR することを事務局の素案とした。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎氏

7 月 1 日から 7 月 8 に野鳥写真展を開催。6 月 30 日に植物観察会を実施するので追加してもらいたい。

○わたらせ未来基金 内田氏

日本野鳥の会栃木で 9 月 3 日につばめのねぐらい入り観察会を実施するため、追加してもらいたい。

渡良瀬遊水地の環境を考えると、植物が中心でラムサール条約湿地登録になったと思うが、それだけでなく、遊水地内ではオオセッカという世界でも数少ない野鳥もいる。ツバメは渡良瀬遊水地内だけでなく、周辺の田んぼと密接な関係があり、秋には渡良瀬遊水地に集まって東南アジアに向かって飛び立っていく。なるべく多くの人に見ていただき、渡良瀬遊水地の環境を知ってもらいたい。

○渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 猿山氏

7月24日にチュウヒの状態の観察結果及び渡良瀬遊水地周辺のシギ・チドリの状況等の講演会を栃木市文化会館にて実施する予定である。

9月4日に、渡良瀬遊水地の湿地再生の現状とこれからの未来について藤岡市遊水池会館にて講演会をする予定である。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

冠をつけることについて、各イベントで本協議会の協賛といったことにするのか。イベント実施一覧をどのように一般人に知らせるのか。広報計画が今後必要であると感じる。

【議長より】

事務局の提案の中では、協議会の協賛まではイベント主催者との調整等問題があり時間的に厳しいため考えていなかった。登録日の冠をつけることをまず考えている。

まとめたイベントについてPRするのが現状なかなか難しい。この問題についてはこの後議題として取り上げる。広報計画について、個別でチラシ、ホームページでPRは出来る。全体的なPRについては情報の一元化で話させていただく。

次の議題について説明をお願いします。

○事務局

- ・資料1、2. 前部会により決定した2テーマの今後の取り組みについて 説明

【議長より】

外来種の動植物対策については、多岐にわたっている所以对象をしぼり、影響があるものについて整理して対策を検討する必要があると考えている。

今後の具体的な取り組み案としては、パンフレット等による啓蒙活動である。また、部会として何か実施できる活動があるか検討したところ、現在実施しているものに部会として参加をしていくのがいいのではないかということである。

また、外来種とは違うが、最近の問題としてイノシシによる被害が起きており、人的被害の出る前に何かできないか。看板による注意喚起、発見情報の発信など取り決めることがあるのではないかと考えている。

○わたらせ未来基金 内田氏

ラムサール条約湿地登録には大きな柱が3つあるが、その中でも湿地の保全が重要である。自治体等が機動力を生かして、小山市のように年に何回もでなくても、年に2回でもセイタカアワダチソウ除去の場合は効果があるので、参加者をたくさん集め除去作業を実施しPRしていくのもいい。なかなか実施は難しいがぜひ取り組んでほしい。特に面積の大きい栃木市は大変かと思うが、がんばってもらいたい。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

部会としての方向性としては、今後部会として行うのか。現在実施している、小山市と栃木市の除去活動と一緒に実施していくということか。他の団体でも同じような活動を行っていると思うが、こういう事例を踏まえて今後どのように部会として活動を実施していくのか確認したい。

【議長】

幹事会としての案では、栃木市及び小山市で実施している事業について参加していくのがいいのではないかと案である。

他の団体の同様の事業については、幹事会としてはそこに部会で参加するまでは考えていなかった。他の団体で参加してほしいというのがあればお聞きしたい。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

イノシシの問題については、現状はどうなっているか知りたい。部会としてどのように参加していくのかを確認したい。

【議長】

知っている範囲で回答となるが、イノシシなどの有害鳥獣については、原則市町で捕獲等の対策をするものである。この部会で何かあれば、担当部署に伝える。

○栃木市遊水地課 田村氏

栃木の対策の現状について、担当部署に確認したところ、先日の栃木市内の車とイノシシの接触事故を受けて、箱ワナを何度か設置した。しかしながら、捕獲には至っていない。県、市の担当課と猟友会の協力を得ながら、イノシシが遊水地内でどの場所に生息しているのか調査している段階である。捕獲計画や住民への情報提供等もこれからという状況である。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎氏

いろいろな情報があり、混乱しているので状況を整理すると、部会として何を取り組んでいくかを議論しており、外来種除去活動については、栃木と小山市で実施している既存の事業に部会として参加しようということで、イノシシ対策については、部会として何をしたいかとしているのか具体的な取り組みがイメージできない。

【議長】

外来種の除去活動については、栃木市と小山市で実施しているものに部会として参加するという一方で反対意見がなければこれで決定したい。

ー反対なしー

イノシシについては、なかなか活動が難しいが、幹事会としての案は、看板の設置、発見情報の発信で、捕獲については現実不可能かと思う。

看板についてはすでに利根上の藤岡出張所にて設置されている。情報の発信については、啓蒙という意味で何かしか実施できればと考えている。何か意見はあるか。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎氏

国で設置した看板は何か所ぐらい設置されているのか。現状で注意喚起は十分なのか。

もし看板が少ないのであれば部会の取り組みとして設置するのがいいのではないかと。

○利根川上流河川事務所小栗氏

4月に車に体当たりという被害があつて、すぐに各ゲートに設置した。看板設置後はイノシシの目撃情報は無い。一般の人が入っていく場所での被害ではなかったため、目撃もないのではないかと。

ワナ等を設置した際は情報提供をお願いしたい。

○渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 猿山氏

湿地再生実験地に入るが、イノシシが出るので音のでるものをつけて入っている。来る人に音のでるものをつけるといいといっている。

○利根川上流河川事務所 小栗氏

ここにいるみなさんがイノシシがいると情報を伝えていくのもいい。青木先生に聞いたところによると、集団で行動すれば、イノシシとは出会わないと聞いた。

足跡等を発見した際は、その情報を共有していければと考えている。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

イノシシ対策として、部会で取り組むことは何になるのか。看板に部会名を入れることはできるのか。情報は何処にすればよいのか。

○環境省関東地方環境事務所 堀氏

イノシシの駆除について、前年度の各自治体の取り組みをまとめた報告書がある。事務所にも1つしかないため、配布は難しいが、可能であれば、抜粋したものをみなさんに提供していければと考えている。

○利根川上流河川事務所 小栗氏

今現在設置している看板には藤岡出張所の連絡先が掲載されている。何か情報があった場合は藤岡出張所までお願いしたい。

看板に部会の名前を入れることは可能であるので、看板の更新時期（パウチ等で作成されており数か月しかもたないものが設置されている）に合わせてか前倒しでやるかを含め検討していきたい。

○コウノトリ・トキの舞うふるさとおやまをめざす会 門馬氏

広報活動の一環として、インターネットを見る人が多いことから、渡良瀬遊水地関係の情報としてよく見るのがアクリメーションさんのHPやわたらせ未来基金さんのHPであるため、そのHPにイノシシの情報が載っているといいのではないかと。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

イノシシについては直接情報がなかったため、掲載していない。いただいた情報については掲載している。ここにいるみなさんの情報を一元化して掲載することは、合意が必要だが、一般の方へのPRとして有効であると考えます。

○わたらせ未来基金 内田氏

HPを持っているが、イノシシの情報を直接掲載するのがいいのか、リンクという形で掲載するのがいいのかあるが、これからは情報として把握できれば流していく。

【議長】

部会として、既存の外来種除去活動に参加するをしたい。また、イノシシについては、看板の設置の検討と情報をHPにより発信を検討するをしたい。

もう一つのテーマであるゴミ対策の強化についてパンフレット、ゴミマップや看板による啓蒙活動の推進と新たなクリーン作戦について幹事会として提案した。

○利根川上流河川事務所 小栗氏

ゴミマップについては、毎年作成している。今後は各年度のゴミマップをまとめ、できれば重ね合わせたものを作成したいと考えている。クリーン作戦のゴミの量については、年々減ってきている。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 楠氏

ゴミの啓発の方法として、ごみ持ち帰りのパンフレットを作成するのは大変であるため、既存のパンフレットに、ごみを持ち帰るというシールを貼ってみてはどうか。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

シールを部会で作るのか。それとも各団体で作るのか確認したい。

【議長】

部会として作るということも考えられるが、その場合は経費をどこからねん出するかという問題がある。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎氏

各自治体の予算で同じシールを作成するというのは可能なのか。

【議長】

それぞれが作成するなら可能性はあるが、部会として共通のデザインのシールを作成するのは難しい。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

自分たちのパンフレットにゴミを持ち帰りましょうという文言を入れている。これから、各団体がパンフレットを作成する時は「ゴミを持ち帰りましょう」とパンフレット内に入れればいいのではないかと。

○加須市環境政策課 大和田氏

昨年度マナーパンフレットを作成したが、その中にもゴミの持ち帰りについて記載されている。そのパンフレットの数に余裕があれば、まずはそれを冠事業等で配布するのがいいのではないかと。

○わたらせ未来基金 内田氏

イベント等で配布するチラシについてもゴミの持ち帰りを記載するのがいい。

【議長】

ゴミの持ち帰り等の記載と合わせて当部会の名前を入れたほうがいいのかどうかお聞きしたい。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

この場でゴミの持ち帰りを啓発するという共通認識があれば、あえてパンフレット等に当部会の名前を入れる必要はないと思う。

○利根川上流河川事務所 小栗氏

ゴミが減ることが重要なので、当部会の名前を入れる必要は特にないと思う。

○わたらせ未来基金 内田氏

野渡橋が開通したが、そのアクセス道路にゴミが増えることが予想される。特に注意喚起をお願いしたい。

○野木町未来開発課小泉氏

車が入ってきて不法投棄をしているという実情を踏まえ、防犯カメラの設置を検討している。ゴミを捨てさせないようにしていければと考えている。

【議長】

本部会として、構成団体等が作成するパンフレット等にゴミ持ち帰り等を記載しイベント等で配布して啓蒙活動をしていくことをお願いしたい。幹事会の案としてのクリーン作戦の実施やその他についてはどうか。

○わたらせ未来基金 内田氏

去年の9月の洪水で、橋の下にペットボトルが大量に残っていた。そういったゴミはどのように対策するのか。

○利根川上流河川事務所 小栗氏

ごみの流れ着いた自治体で税金を使って処理しているのが実情である。河川管理者としてできるだけゴミがでないようには考えているが、なかなか難しい。

【議長】

この場ですぐ実施するという事はなかなか意見が出ないため、次の議題に進めたい。議題が終わった段階で時間があればまた、協議したい。

次の議題について説明をお願いします。

○事務局

・資料1、3. ラムサール条約湿地登録5周年に向けて検討事項の整理について 説明

【議長】

平成29年でラムサール条約湿地登録5周年となるが、素案以外で何かないか。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎氏

確認だが、次回の幹事会までに皆さんに項目を出してもらうということでもいいのか。

次回の部会で、この項目の内容についてある程度説明してもらいたい。

○渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会 米田氏

来年度がカスリーン台風70年ということで、経験している人が年々少なくなっていることからぜひカスリーン台風の件についてもいれてほしい。

【議長】

治水を踏まえた上でのラムサール条約湿地登録であり、カスリーン台風について、知っていただくことは大切と考える。

構成団体等には次回の幹事会までに、取り組みの提案や幹事会案の意見をいただきたい。

次の議題について説明をお願いします。

○事務局

- ・資料1、4. 渡良瀬遊水地の情報の一元化について 説明

【議長】

各団体が持っている情報をわかりやすく発信できないか。一つの案としてホームページを作り情報を集約し、各団体がリンクをするというものがある。そのほかに意見はないか。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 白井氏

渡良瀬遊水地を知ってもらうためにはホームページは必要である。今後はオリンピックを控え外国人観光客もたくさんくるので、近隣市町と協力してどうやったらPRできるかを今から検討していく必要がある。お客を迎え入れる体制づくりも重要である。

この部会でというのではなく、他の部会も活動していく必要がある。情報の一元化という点で見れば、現在あるホームページを活用していくというのは、ここの皆さんの了解が得られれば取り組めることだと思う。

【議長】

いろいろなイベント等を一般の人にPRするためには、やはりホームページが必要であり今後は、アクリメーション振興財団のページを生かしていくということとしたいがどうだろうか。

ー会員より賛意ー

アクリメーション振興財団には、ホームページの対応への協力を願う。

部会の運営等については、幹事会で今後検討していきたい。

3. 情報交換について

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 関口氏

資料7を説明

○栃木市遊水地課 荒川氏

日本遺産認定についてこの協議会の場でも報告等をしていきたい。できれば、6月に臨時総会等を開きたいと考えている。

4. その他

○事務局より次回開催の案内

5. 閉会

- ・司会より閉会の辞